

トレンド調査 — 「“UNDER30”私たちの選び方 ～部屋探しのプロセス&マインド～」(2017-18年全国)—

30歳未満の学生・社会人の部屋探しを徹底調査

スピード重視の学生男性、事前に多くの情報を求める学生女性、 効率的に決める社会人男性、時間をかけて検討する社会人女性

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区)は、全国で一人暮らしをしている、18～29歳の学生・社会人男女 2,074人を対象に、現在住んでいる部屋を探した際の細かなプロセスやマインドの変化について、アンケート調査を実施いたしました。その中から主な結果をご案内いたします。

<主な調査結果>

- ◆平均家賃は学生 4.8 万円、社会人 5.6 万円で、学生男性のみが当初予算を下回る。
初期費用は学生・社会人ともに男性より女性の方が高い。
- ◆収入の平均は、学生で 5 万 3 千円、社会人では 20 万 6 千円。
生活費では、食費で約 5 千円、交際費で約 7 千円、社会人が学生を上回る。
- ◆探し始めてから契約までにかかった日数は、学生で「1 日」、社会人で「2 週間くらい」が最多。
学生、社会人とも男性より女性の方が時間をかけて探す傾向。
- ◆学生の 7 割以上、社会人の 8 割以上が部屋探しにスマートフォンを利用。
利用したサイトは学生・社会人ともに「不動産ポータルサイト」がトップ。
- ◆家賃以外で重視したことは、学生は「通勤・通学時間」、社会人は「間取り・広さ」がそれぞれトップ。
設備では学生・社会人ともに「独立したバス・トイレ」を重視。
- ◆妥協したことのトップは学生、社会人ともに「築年数」。
設備では学生は「追い焚き機能付バス」、社会人は「収納の広さ」を妥協。
- ◆学生・社会人ともに 4 割が、「電話や E メールより LINE の方が不動産会社に問い合わせしやすい」。
- ◆学生の 7 割、社会人の 8 割が「契約・更新時にクレジットカードが利用できたら便利」。

<結果総括>

本調査では、調査対象を学生男性、学生女性、社会人男性、社会人女性の四属性に分けてまとめています。これにより、それぞれに特徴的な部屋探しの実態とマインドの特徴が見えてきました。

【学生男性】

当初の家賃予算が最も少ないため、選ぶ間取りはコンパクト。設備についても多くを妥協してシンプルな部屋を選ぶ傾向にあります。探し始めてから1週間以内に契約する割合が多く、最もスピーディーに決断しています。不動産会社からのレスポンスにもスピードを求めます。

【学生女性】

セキュリティや治安の良さを重視して住まい探しをする傾向があり、スマートフォンで鍵の開閉ができるスマートロックにも他の属性より高い関心を寄せています。また、写真や動画で物件を事前にチェックしたいという人が多いのも特徴です。

【社会人男性】

就職、転勤がきっかけで部屋を探す人が多いため、2週間くらいで契約する割合が最も多く、限られた時間で決断しています。当初の家賃予算が高く、他の属性よりも広い部屋を選んでいきます。設備についても妥協が少なく、無理なく希望を叶えているようです。

【社会人女性】

部屋探しのきっかけとして「ひとり暮らしをしてみたかったから」と回答している人が2割を超え、自発的に一人暮らしを始める人が他の属性より多いのが特徴です。理想とするひとり暮らしのイメージがあるためか、部屋に求めるものが多く、時間をかけてじっくり検討する傾向があります。

さらに調査結果のデータをもとに、若者の部屋探しの動向を把握するため、経年変化をまとめたところ、2013年に行った前回調査のときよりも、部屋探しのツールとしてスマートフォンを利用する人の割合が2倍以上に増加していることがわかりました。また、いつでも、どこからでも物件情報にアクセスして部屋探しができるようになったことにより、以前は夜間の時間帯に集中していた物件検索が日中も多くなるようになり、問い合わせをした際に不動産会社に対して、よりスピーディーなレスポンスを求めようになってきている、といった変化も見られました。

<調査概要>

◆調査対象／過去2年以内に引っ越しをして一人暮らしをしている、全国の18～29歳の学生・社会人、計2,074人。

※当調査は隔年のペースで実施しております。

◆調査方法／インターネットによるアンケート調査

◆調査期間／2017年10月18日(水)～10月23日(月)

◆調査回答者 エリア内訳

	エリア全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
学生	961	46	93	341	114	135	88	40	104
学生男性	375	14	31	130	52	52	31	13	52
学生女性	586	32	62	211	62	83	57	27	52
社会人	1113	58	83	444	114	158	110	42	104
社会人男性	515	26	25	227	62	75	37	16	47
社会人女性	598	32	58	217	52	83	73	26	57

(人)

◆調査内容について

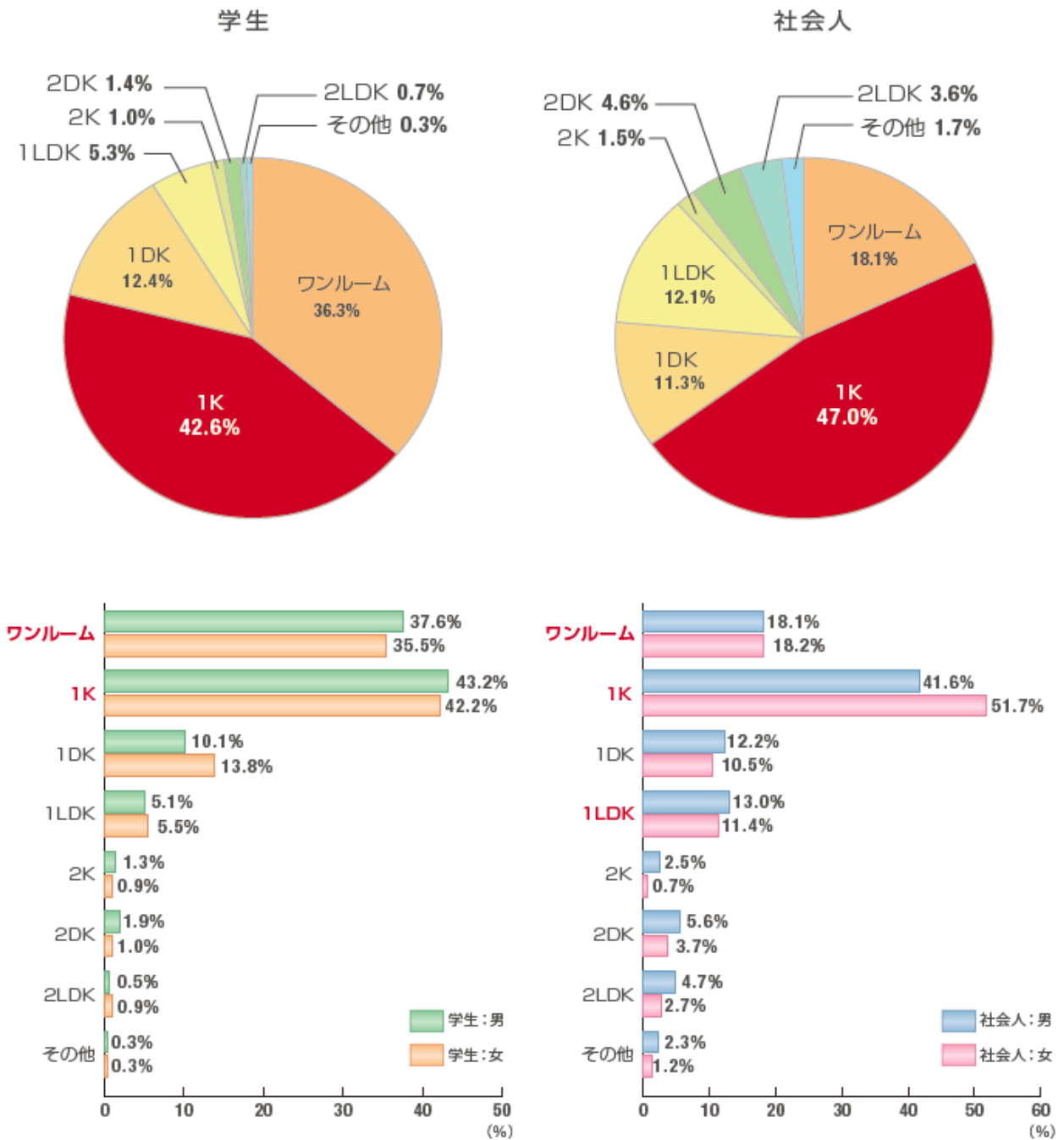
現在の部屋のスペックから、その部屋を探したきっかけや時期、探した時の方法や行動、感じたこと、重視したこと、そしてその結果の満足度まで、若者の部屋探しの細かなプロセスとマインドの変化について合計53項目を調査しました。

<調査結果>

■間取りは4割以上が「1K」。社会人は広めの物件を選ぶ傾向。

現在の部屋の間取りを聞いたところ、「1K」が最も多く、学生では4割強、社会人では5割弱を占めました。2位は学生・社会人ともに「ワンルーム」ですが、学生の36.3%に対し、社会人では18.1%と約2倍の差が見られます。一方「1LDK」では社会人12.1%、学生5.3%と、こちらも差は2倍以上になっており、社会人は学生より広い物件を選ぶ傾向にありました。

Q.現在の部屋の間取りを教えてください。(択一)

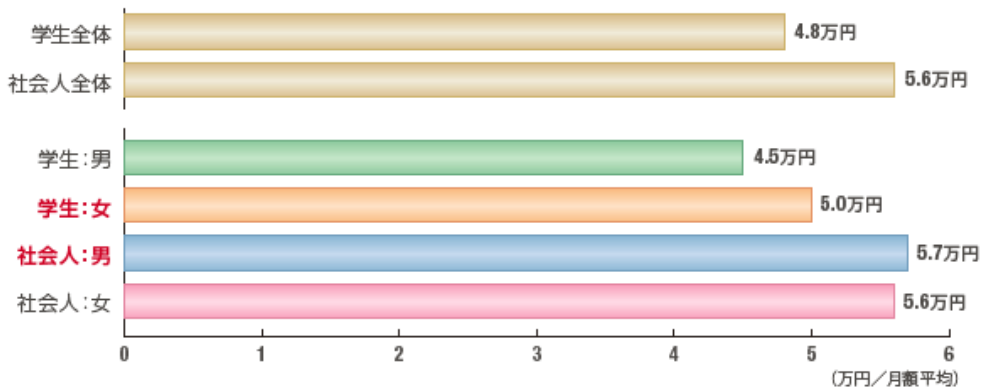


■平均家賃は学生 4.8 万円、社会人 5.6 万円で、学生男性のみが当初予算を下回る。
初期費用は学生・社会人ともに男性より女性の方が高い。

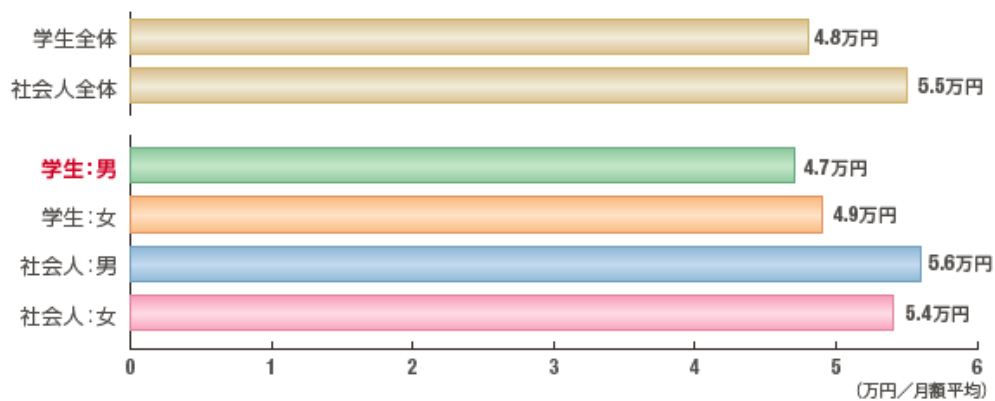
家賃については、学生は女性の方が高く、社会人は男性の方が高くなっています。どの属性もほぼ予算を守って部屋探しをしていますが、実際の家賃が当初の予算を下回ったのは男性学生のみでした。学生女性の家賃は学生男性より5千円以上高くなっています。

初期費用については、学生・社会人ともに女性が男性を上回りました。

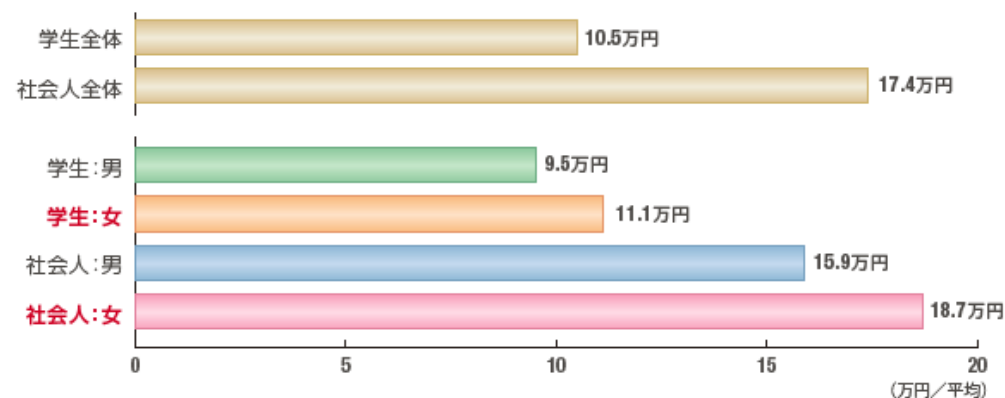
Q.現在の家賃を教えてください。(フリーアンサー)



Q.当初の家賃予算を教えてください。(フリーアンサー)



Q.入居時にかかった初期費用を教えてください。(フリーアンサー)

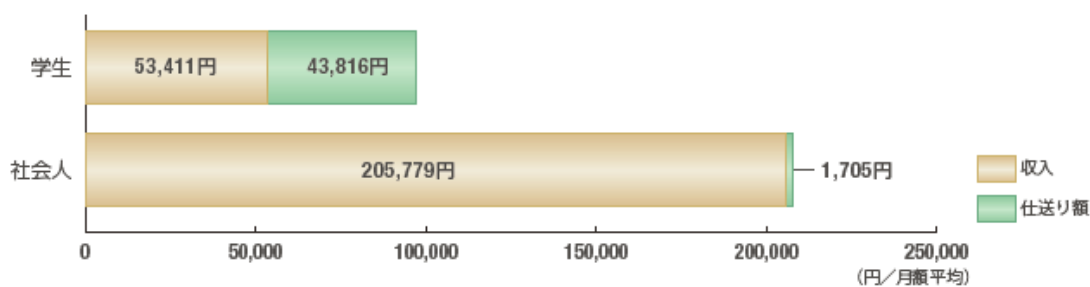


■収入の平均は、学生で5万3千円、社会人では20万6千円。
生活費では、食費で約5千円、交際費で約7千円、社会人が学生を上回る。

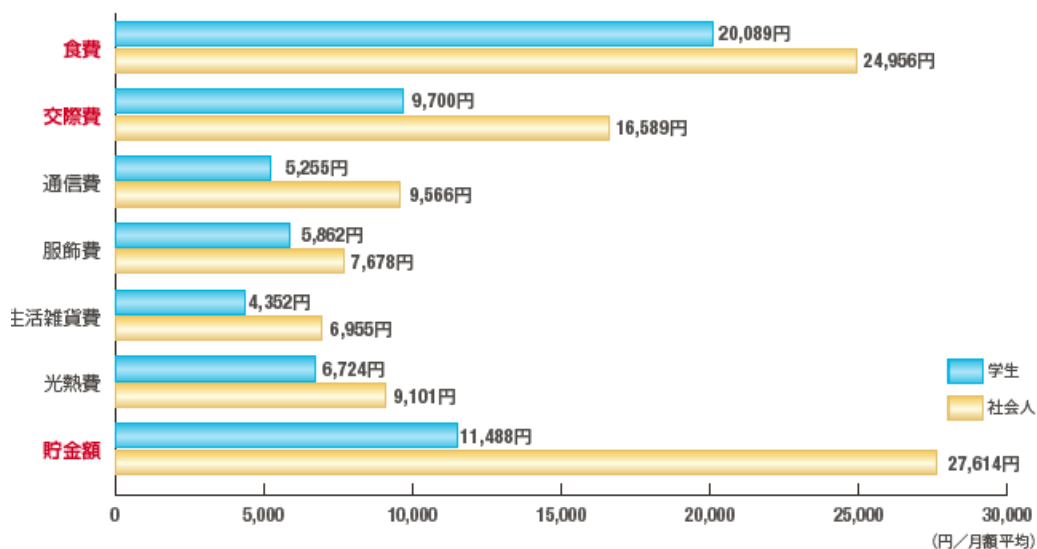
収入と生活費などの基本的な支出について聞いたところ、収入は社会人で約20万6千円、学生は約5万3千円に仕送りの約4万4千円をプラスしてトータル約9万7千円でした。また、社会人は収入の約1割を貯金に回しているようです。

支出の面では、すべての項目で社会人が学生を上回り、中でも「食費」では約5千円、「交際費」では7千円と、特に差が大きくなっています。

Q.あなたの収入や仕送りの金額を教えてください。(フリーアンサー)



Q.以下の項目で、それぞれ毎月かかる費用を教えてください。(フリーアンサー)



平均金額	収入	仕送り額	食費	交際費	通信費	服飾費	生活雑貨費	光熱費	貯金額
学生男性	56,967	43,822	21,679	9,037	5,528	4,889	4,244	6,744	11,018
学生女性	51,149	43,811	19,073	10,123	5,080	6,482	4,420	6,711	11,788
社会人男性	222,854	1,736	27,783	17,548	9,352	6,227	7,358	9,131	33,055
社会人女性	190,967	1,678	22,564	15,768	9,751	8,916	6,613	9,076	22,941

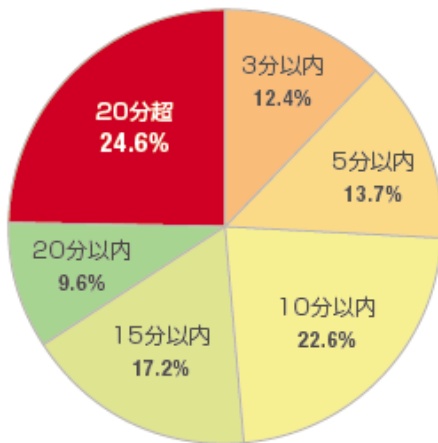
(円/月額平均)

■最寄り駅までの徒歩所要時間は、学生は「20分超」、社会人は「10分以内」が最多。
特に社会人男性は駅から近い物件を選ぶ傾向。

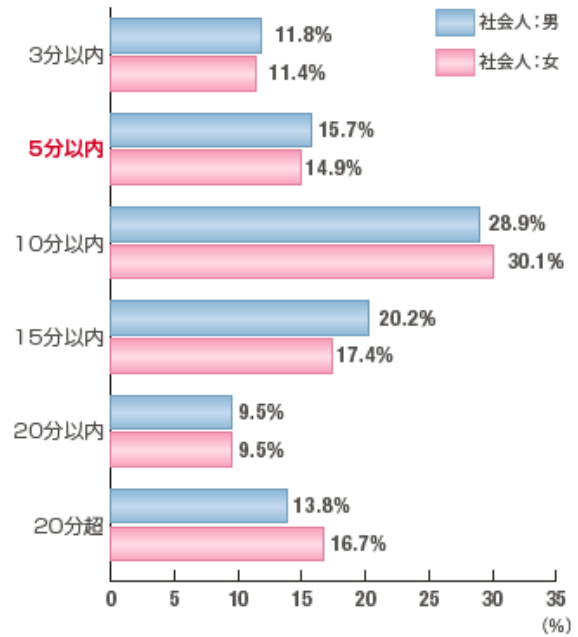
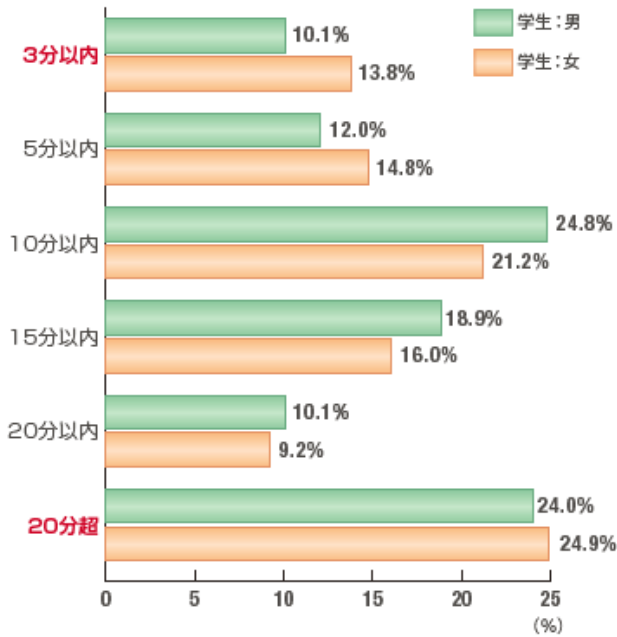
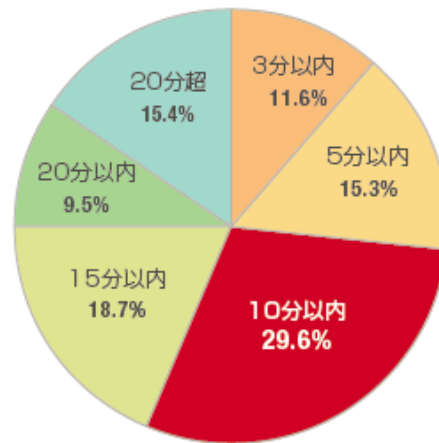
現在の部屋から最寄り駅までの徒歩所要時間は学生は「20分超」、社会人は「10分以内」が最多となりました。「5分以内」と答えた割合は社会人男性が最も多く、駅に近い物件を選ぶ傾向があります。

Q.現在の部屋から最寄り駅までの、徒歩の所要時間を教えてください。(一択)

学生



社会人

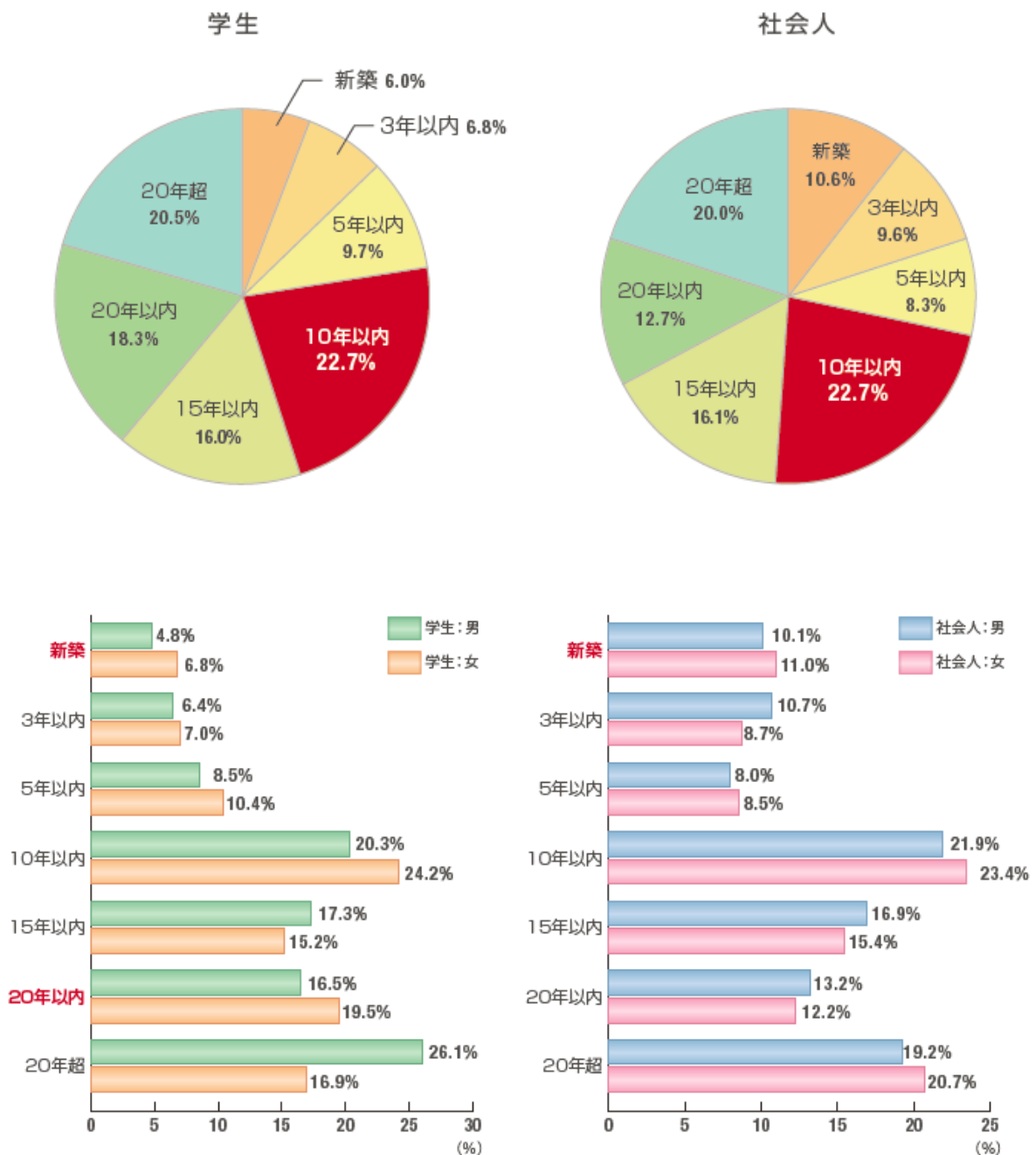


■築年数は、学生・社会人ともに「10年以内」が最多、次いで「20年超」。学生・社会人ともに男性より女性の方が「新築」の割合が多い。

入居時の築年数は学生・社会人ともに「10年以内」が最多で、学生・社会人ともに約2割を占めていました。次いで多かったのは「20年超」でした。特に学生男性は「20年超」の割合が26.1%にのぼり、築年数に対するこだわりが薄い様子が見えがえしました。

「新築」の割合が多かったのは、学生・社会人ともに女性でした。

Q.現在の部屋の入居時の築年数を教えてください。(一択)

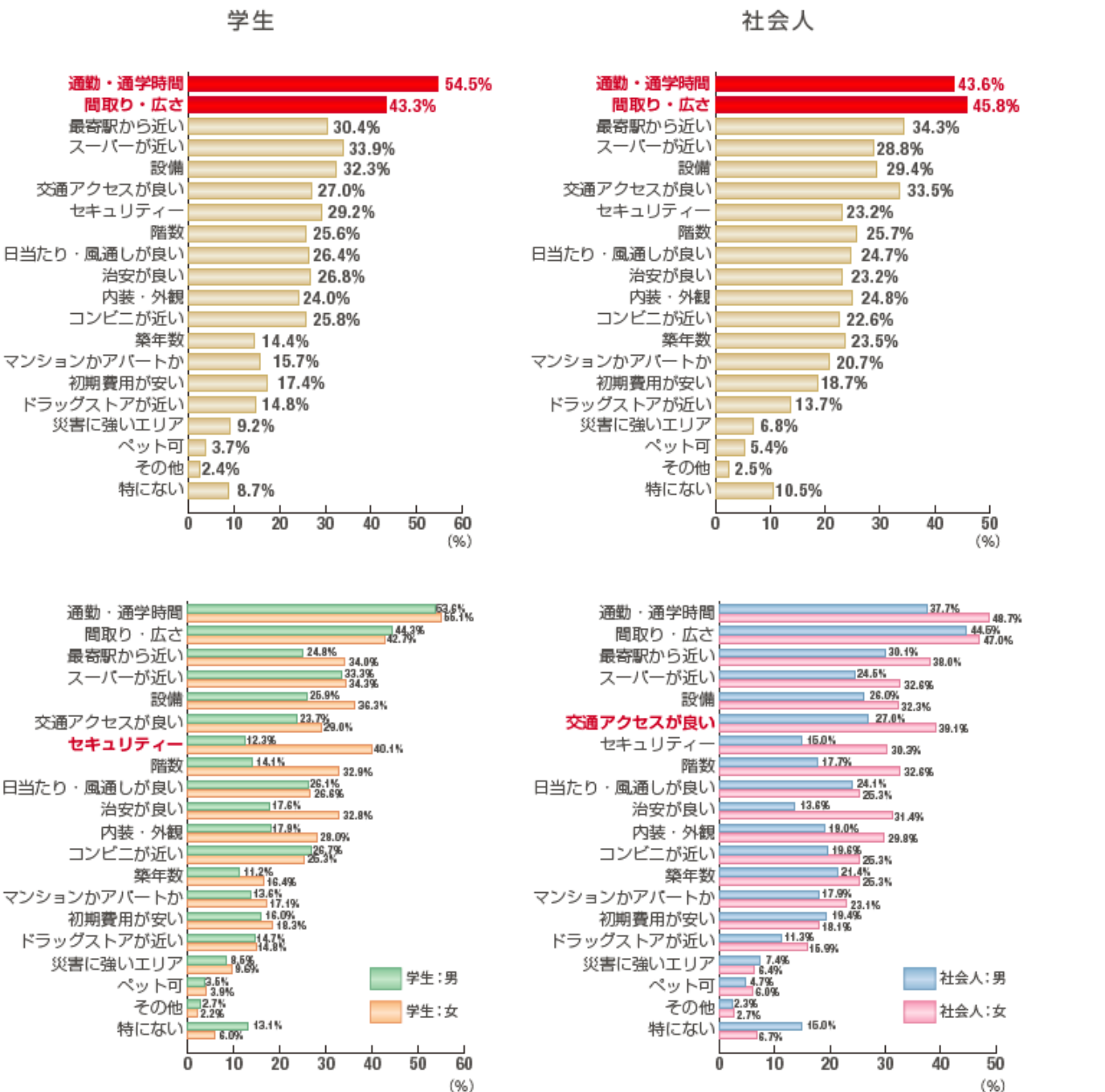


■家賃以外で重視したことは、学生は「通勤・通学時間」、社会人は「間取り・広さ」がそれぞれトップ。
設備では学生・社会人ともに「独立したバス・トイレ」を重視。

現在の住まいを探す際に、家賃以外で最初から最後まで重視したことは、学生・社会人ともに上位2項目は同じですが、学生のトップは「通勤・通学時間」、社会人のトップは「間取り・広さ」という結果になりました。

学生・社会人ともに男性よりも女性の方が重視した項目が多く、さまざまなことを考慮しているようです。学生女性は「セキュリティー」、社会人女性は「交通アクセスが良い」が約4割で、それぞれ他の属性よりも約1割多くなっています。

Q.家賃以外で現在の部屋探しの際に最初から最後まで変わらずに重視したことは何ですか？（複数回答）

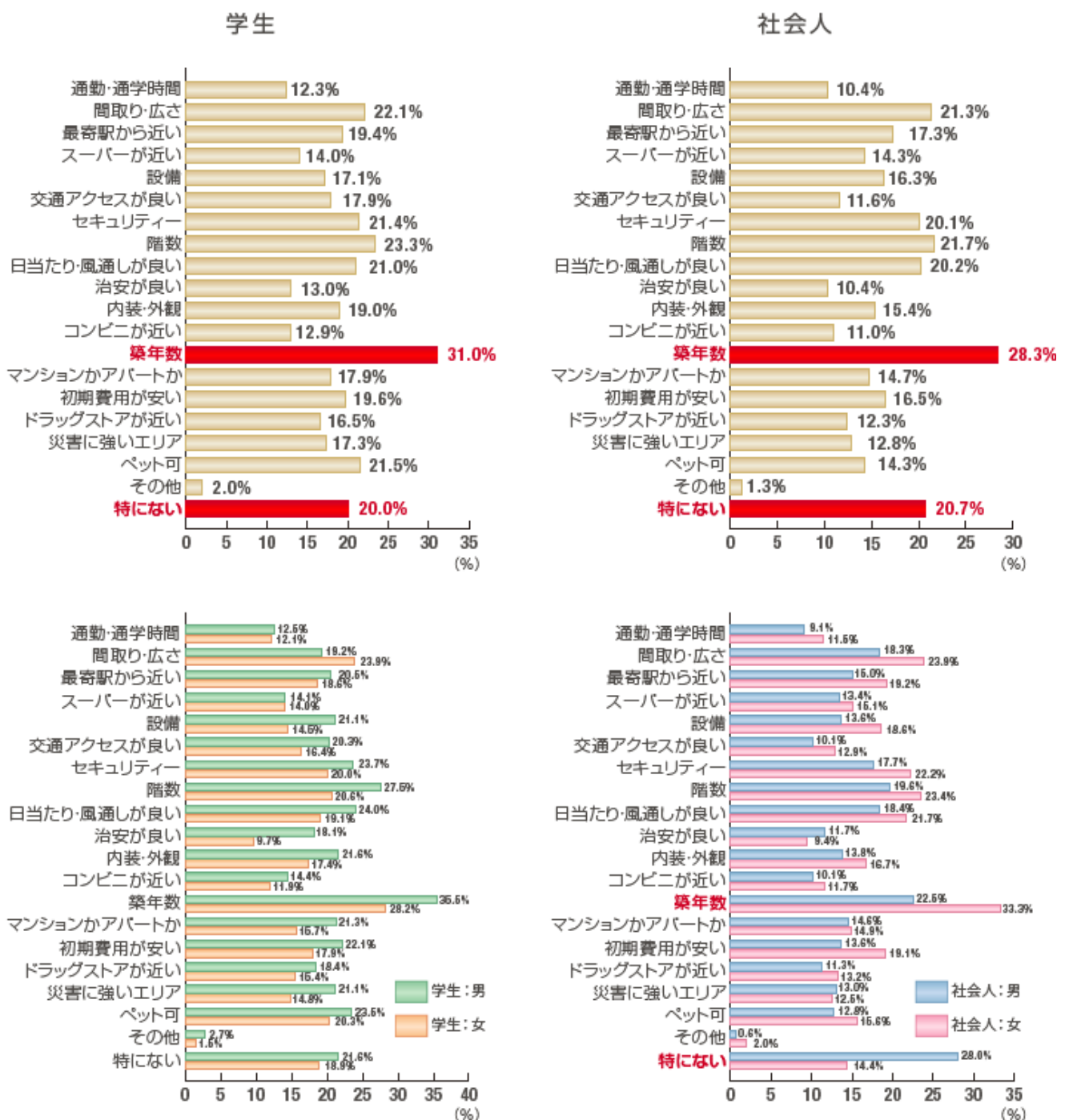


■妥協したことのトップは学生・社会人ともに「築年数」。

家賃以外で現在の部屋探しの際に妥協したことは、学生・社会人ともに「築年数」が約3割でトップでした。学生ではほとんどの項目で男性が女性を上回る一方、社会人ではほとんどの項目で女性が男性を上回りました。

「特にない」の割合は約2割で、多くの方が何らかの妥協をしています。社会人男性は「特にない」が28.0%と比較的多く、予算が高いこともあってか、妥協は少なめだったようです。

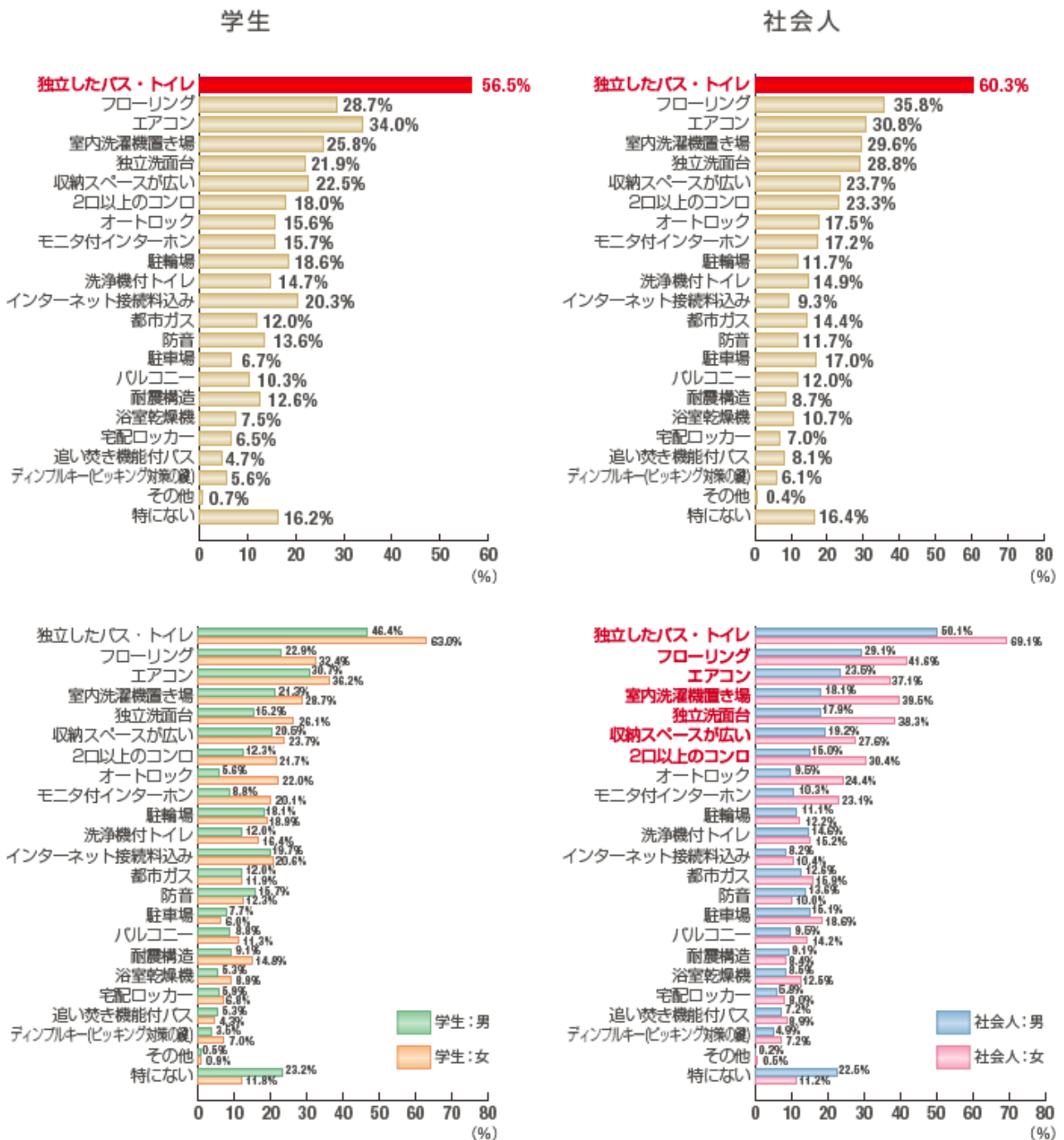
Q.家賃以外で現在の部屋探しで妥協したことは何ですか？(複数回答)



■家賃以外で重視した設備は学生・社会人ともに「独立したバス・トイレ」がトップ。
男性より女性の方が重視する設備が多い。

現在の部屋探しの際に妥協した設備は、学生・社会人ともに最も多かったのが「独立したバス・トイレ」でした。
学生・社会人ともに女性の方が重視した設備が多く、いろいろな設備を求める傾向が見られます。特に社会人女性では「独立したバス・トイレ」「フローリング」「エアコン」「室内洗濯機置き場」「独立洗面台」「収納スペースが広い」「2口以上のコンロ」の7項目が、いずれも他の属性を上回りました。

Q.現在の部屋探しの際に最初から最後まで変わらずに重視した設備は何ですか？（複数回答）

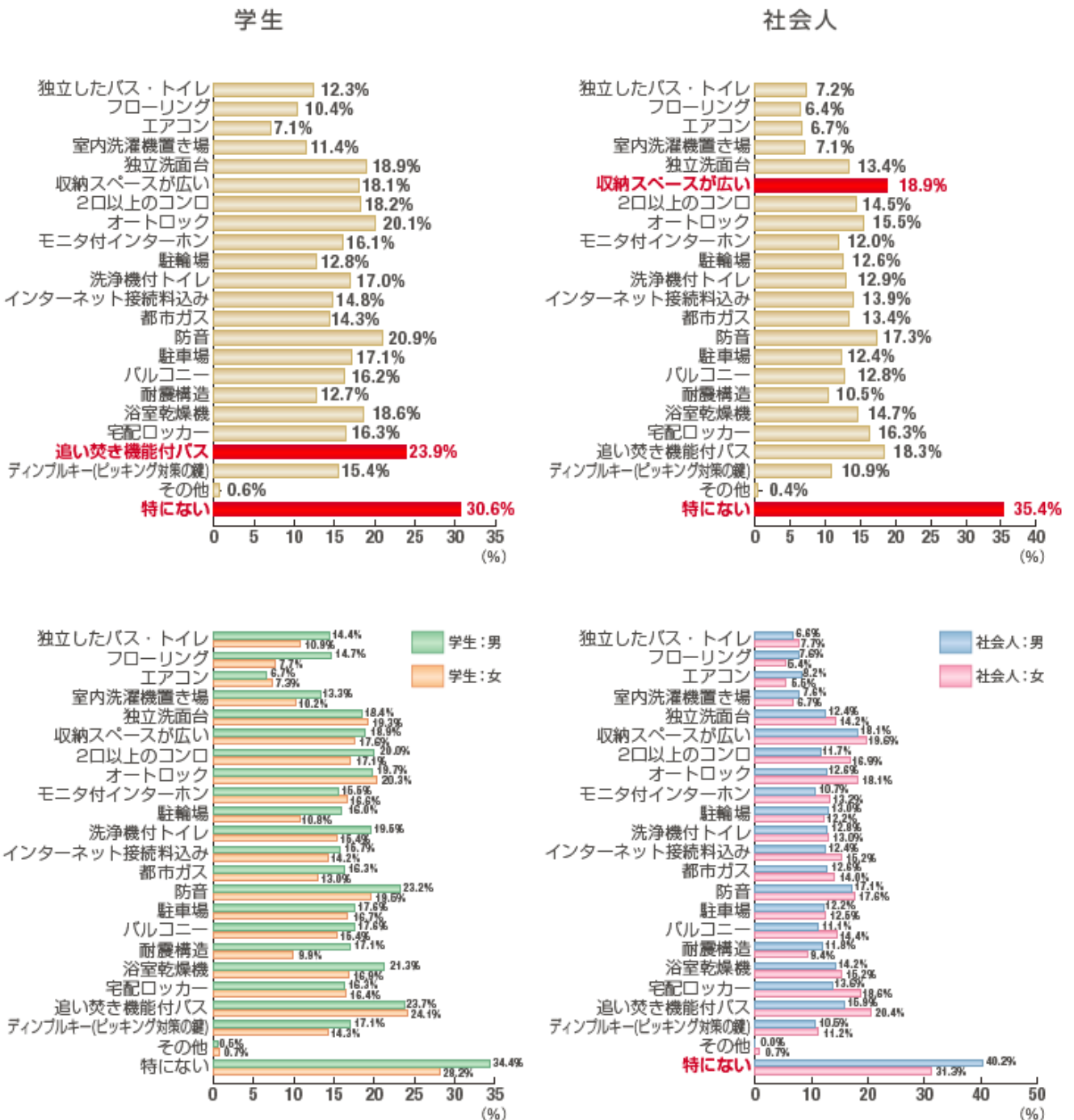


■現在の部屋探しの際に途中で妥協した設備は、学生では「追い焚き機能付バス」、社会人では「収納スペースが広い」がそれぞれトップ。

妥協した設備は学生では「追い焚き機能付バス」、社会人では「収納スペースが広い」がそれぞれトップでした。社会人の方が予算に余裕があるためか、妥協した設備は学生の方が多いという結果になりました。

学生・社会人ともに「特にない」が最多で、学生は30.6%、社会人は35.4%とそれぞれ3割を超えています。なかでも社会人男性の「特にない」は40.2%と最多で、妥協せず探しているようです。

Q. 現在の部屋探しの際に妥協した設備は何ですか？（複数回答）

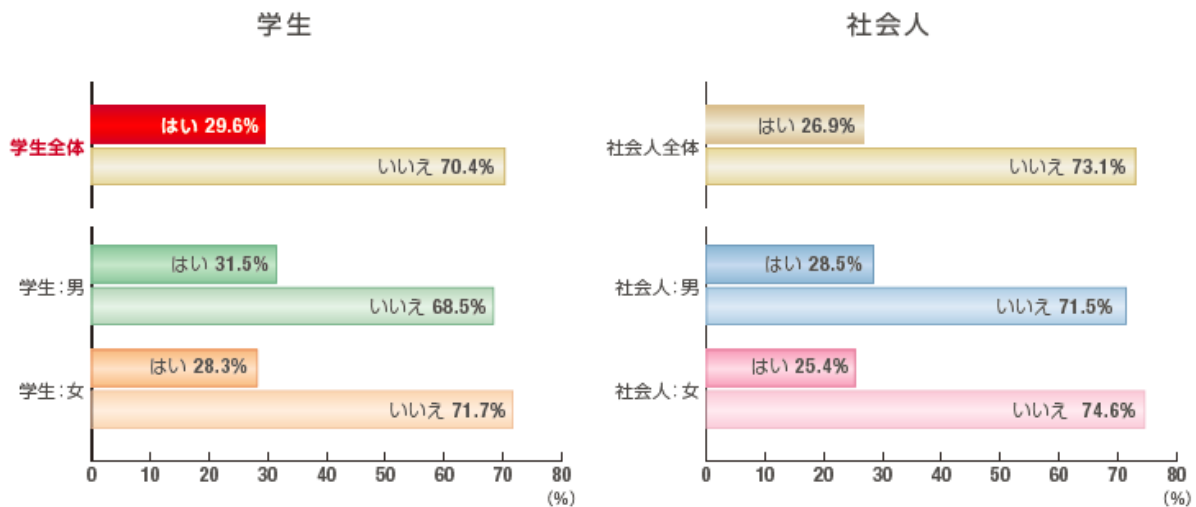


■宅配ロッカーの利用意向は約8割と高いものの、設置率は3割程度にとどまる。

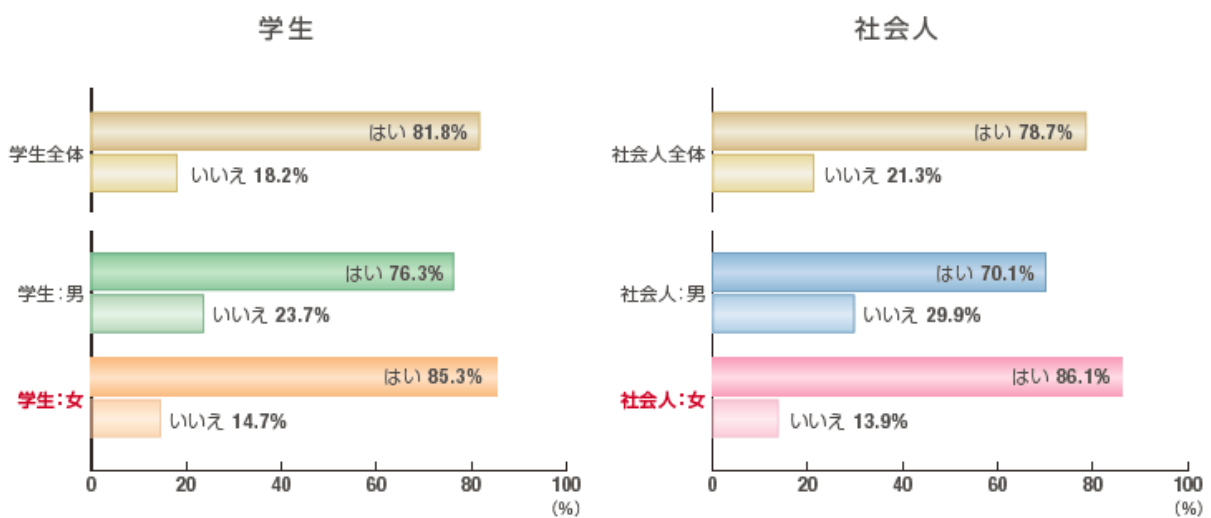
学生・社会人とも女性の利用意向が高い。

宅配ロッカーは約8割が自宅にあったらうれしいと思う、利用意向の高い設備ですが、実際の設置率は3割程度で、最も設置率が高かった学生男性の部屋でも31.5%にとどまっています。利用意向は男性より女性の方が高く、社会人女性は86.1%、学生女性は85.3%にのびりました。

Q. 現在の住まいに、留守中でも宅配物を受け取ることができる宅配ロッカーはついていますか？(択一)



Q. 自宅に宅配ロッカーの設備があったらうれしいですか？(択一)

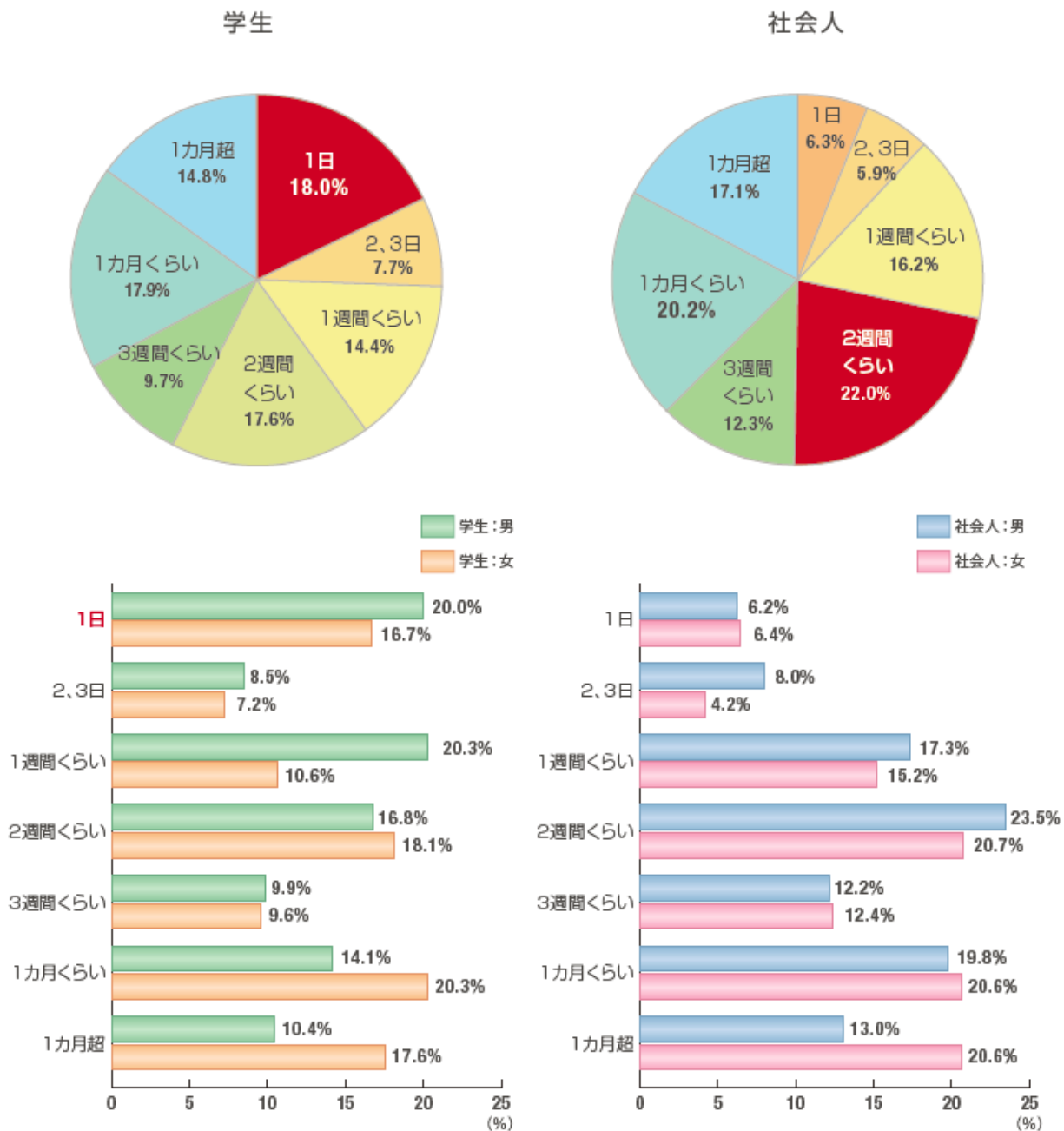


■部屋を探し始めてから契約までの日数は、学生では「1日」、社会人では「2週間くらい」が最多。
 学生、社会人ともに男性より女性のほうが日数が長く、慎重に探す傾向。

部屋を探し始めてから契約までの日数は、学生は18.0%の「1日」がトップ、17.9%の「1カ月くらい」、17.6%の「2週間くらい」と続きました。社会人のトップは「2週間くらい」で22.2%、2位が「1カ月くらい」で20.2%でした。

社会人よりも学生のほうが契約までの日数が短く、中でも学生男性は「1日」の割合が2割にのぼり、最もスピーディーに決断していました。学生・社会人ともに、男性より女性の方が期間が長く、慎重に部屋探しを行う傾向が見られました。

Q. 実際に部屋を探し始めてから契約までにかかった日数をお答えください。(択一)

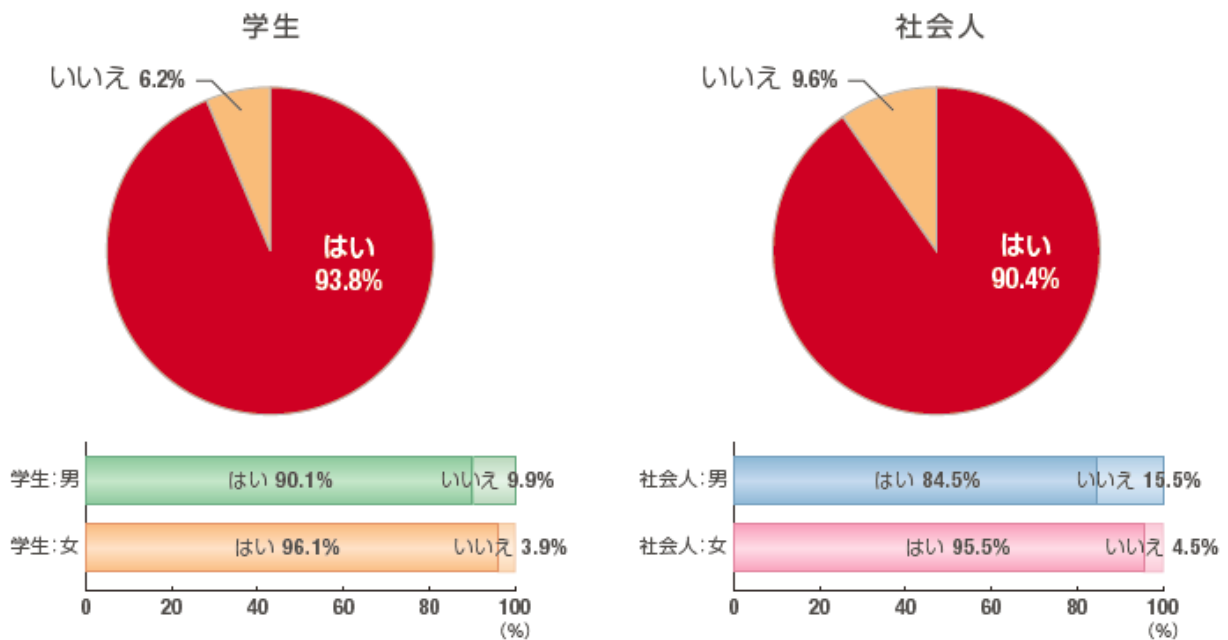


■学生・社会人ともに90%以上がLINEのアカウントを持っており、若者の主要メッセージングツールのひとつ。
4割以上が、「電話やEメールよりLINEの方が不動産会社に問い合わせしやすい」と回答。

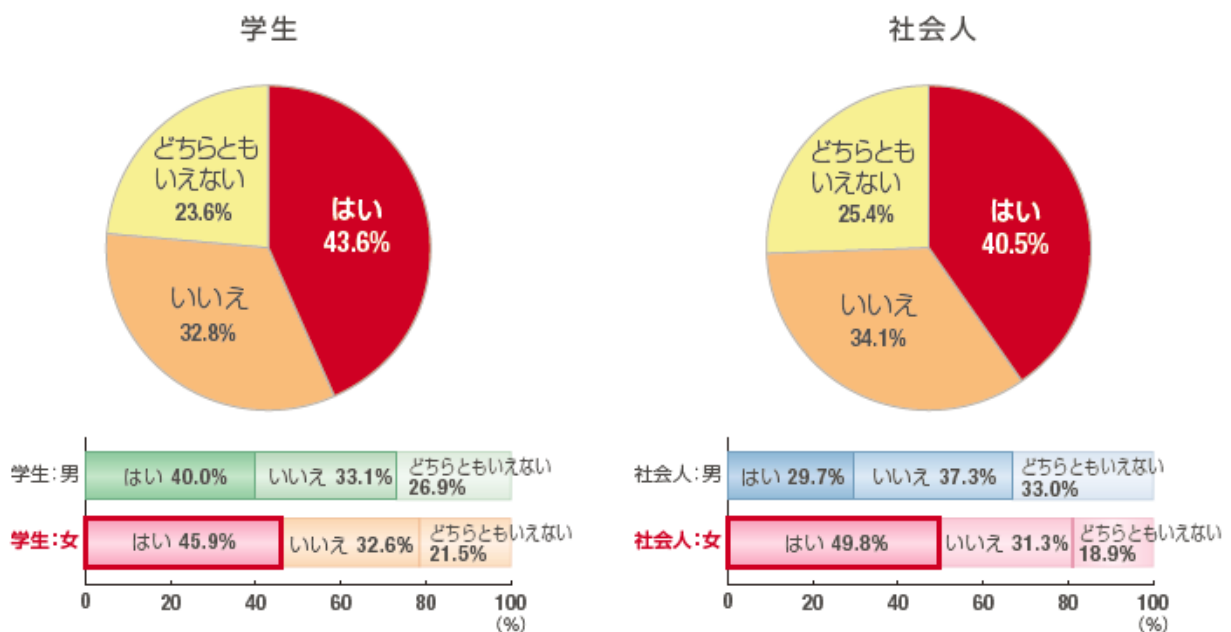
学生・社会人ともに90%以上がLINEのアカウントを持っており、若者の誰もが使うメッセージングツールとして定着しています。不動産会社に問合せをする際、電話やEメールよりもLINEの方が問合せしやすいという人は、学生・社会人ともに4割を超えており、使い慣れたメッセージングツールを不動産会社との連絡にも利用したいと考えているようです。

物件の空室確認などについても、約4割がLINEで行いたいと考えています。男性より女性の方がこの傾向は強く、中でも社会人女性は45.0%と最も多くなっています。

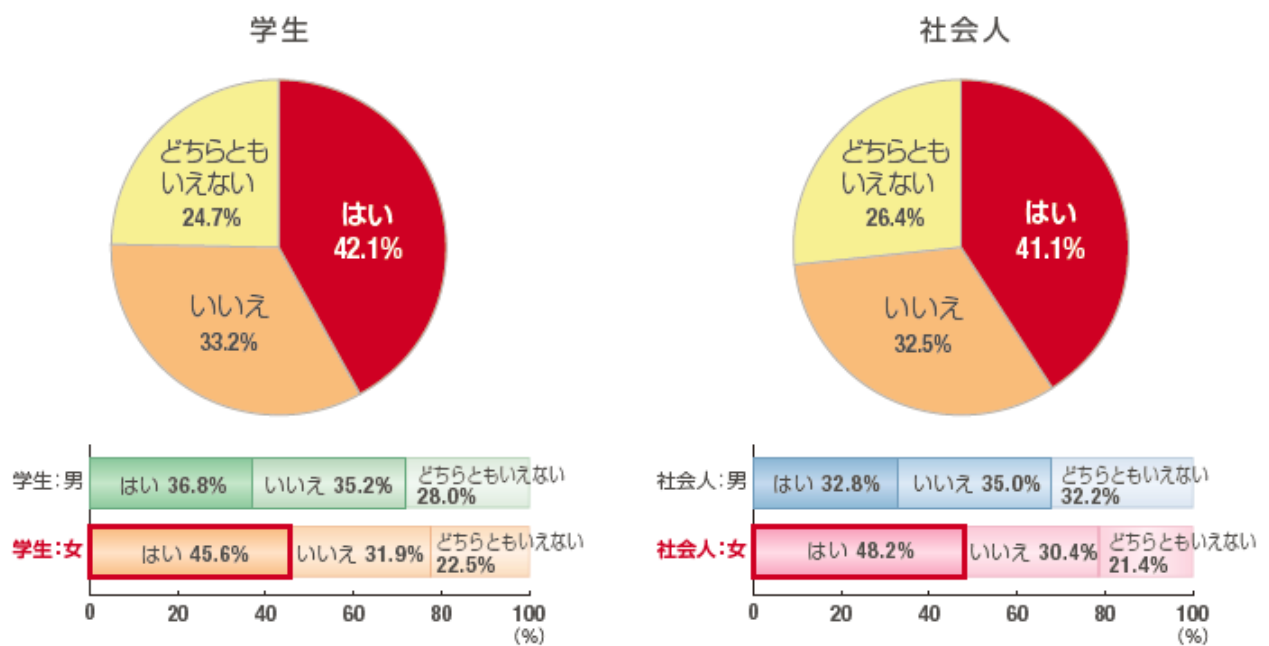
Q.LINEアカウントを持っていますか？(択一)



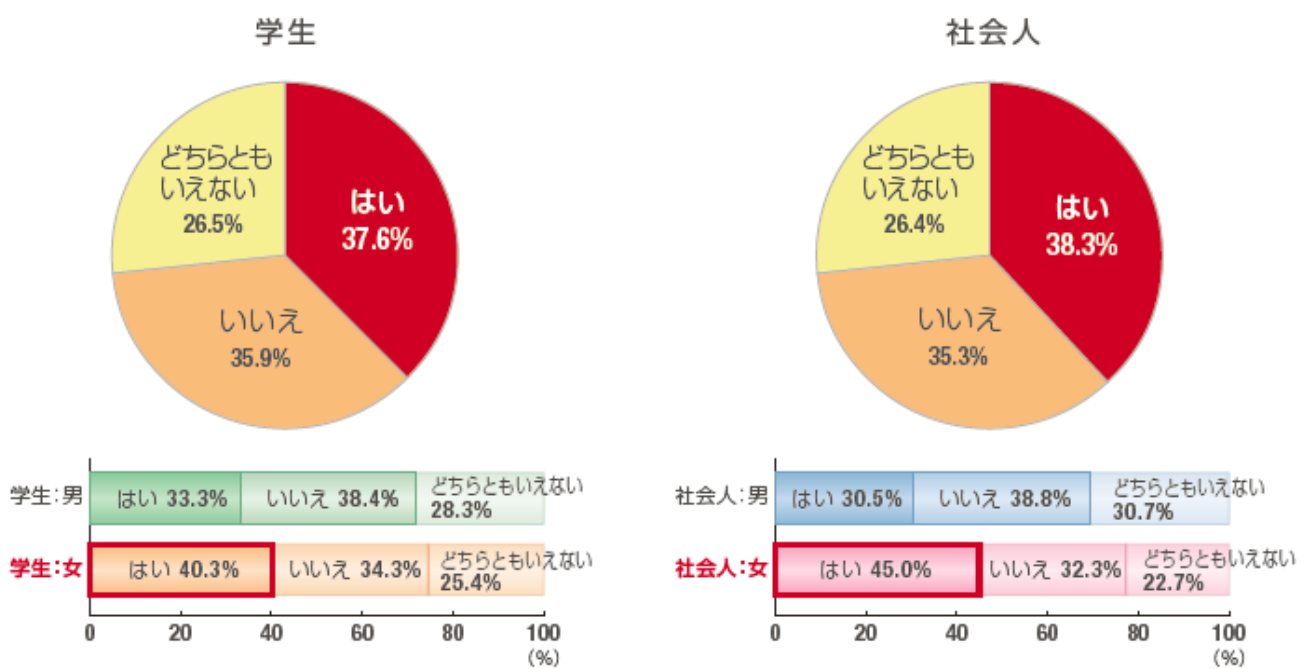
Q.不動産会社に物件の問合せをする際、電話とLINE(メッセージ機能)では、LINEの方が問合せしやすいですか？(択一)



Q.不動産会社に物件の問合せをする際、EメールとLINE(メッセージ機能)では、LINEの方が問い合わせしやすいですか？(択一)



Q 不動産会社への物件の空室確認などをLINEで行いたいと思いますか？(択一)

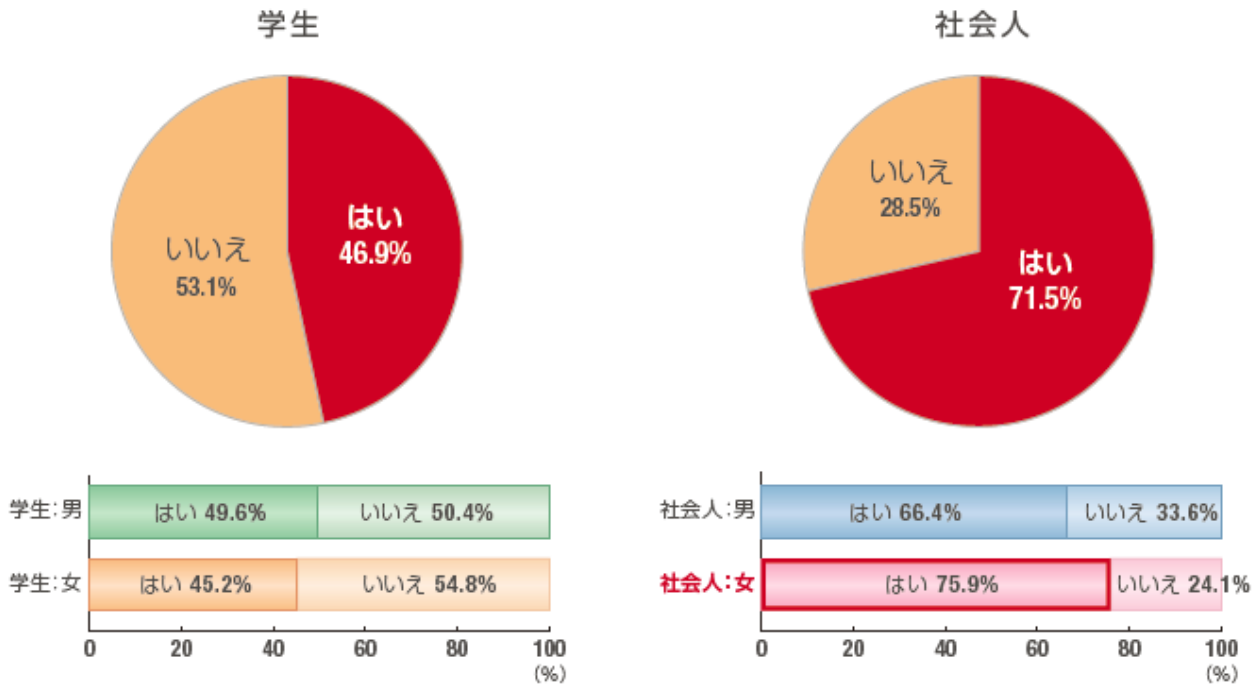


■学生の7割、社会人の8割が「契約・更新時にクレジットカードが利用できたら便利」と回答。
中でも社会人女性が最も利用意向が高い。

賃貸物件の契約や更新時のクレジットカードの利用について聞いてみると、社会人では71.5%が「利用できたら便利」と回答し、学生の46.9%を大きく上回りました。また、社会人女性は75.9%が「利用できたら便利」としており、社会人男性の66.4%を10%近く上回っています。

クレジットカードを保有している人の中での割合を見てみると、社会人は82.0%、学生は70.2%とさらに高くなり、クレジットカードを利用して便利に決済したいという意向は高まっているといえそうです。

Q 賃貸物件の契約や更新時にクレジットカードが利用できたら便利だと思いますか？(択一)



Q.クレジットカード保有者での集計(択一)

